

平成 26 年度大阪府中学生学びチャレンジ事業

チャレンジテスト

中学校第 2 学年

社会 A

注 意

- 1 生徒アンケートが、問題冊子の 1 ページに 3 問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄にマークしてください。
- 2 調査問題は、3 ページから 25 ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 3 解答はすべて解答用紙⑤（社会 A）に記入してください。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消す時は消しゴムできれいに消してください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 8 解答用紙の〔生徒記入欄〕に、組、出席番号、男女を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 9 調査時間は 45 分です。

アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるものを1つずつ選びなさい。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(1) 社会の授業の内容はよく分かる。…………… ① — ② — ③ — ④

(2) 社会の授業で学習したことは、将来、…………… ① — ② — ③ — ④
社会に出たときに役に立つ。

(3) 社会の授業で目的に応じて資料を読み、…………… ① — ② — ③ — ④
自分の考えを話したり、書いたりしている。

問題は、次のページから始まります。
先生の合図があるまで、次のページを
開かないでください。

- ① 由美さんは、世界と比べた日本の地域的特色について調べることにしました。次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 由美さんは、日本の人口や産業について調べ、下のようにまとめました。

- ・㊸2012年7月の日本の人口は世界第11位だった。
- ・産業は大まかに、㊹「第一次産業」「第二次産業」「第三次産業」に分けられる。
- ・第三次産業の割合は、70%をこえている。

- ① 下線部㊸に最も近いものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 7千万人 イ 1億人
ウ 1億3千万人 エ 1億6千万人

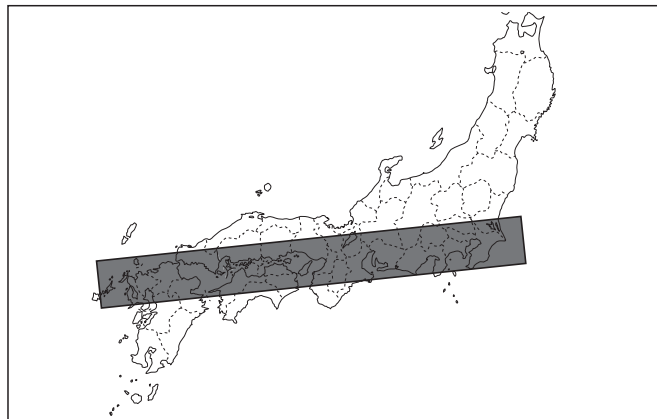
- ② 下線部㊹に関連して、第三次産業に分類されるものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 工業 イ 漁業 ウ 商業 エ 農業

(2) 由美さんは、日本の工業地帯や物流・貿易について調べ、下のようにまとめました。

- 日本の㉔ 工業地帯・工業地域は海に面した場所に多い。それは、㉕ 原料や製品の輸出入に、^{せんぱく}船舶を使うことが多いためである。
- ㉖ 日本の輸出入額を地域別にみると、1960年も2010年も、アジア州、北アメリカ州、ヨーロッパ州の三地域を合計すると70%をこえている。

① 下線部㉔に関連して、下の地図中の で示した地帯には日本のおもな工業地帯・工業地域が集まっています。 の地帯の名前を書きなさい。



地図 日本のおもな工業地帯・工業地域

- ② 下線部⑤に関連して、■■■■の地帯では人の行き来もさかんです。下の表1は、東京からこの地帯のおもな都市（大阪、岡山、広島、福岡）へ移動する際の鉄道による移動距離、利用人数・割合と、航空機の利用人数・割合を表しています。表1から読み取れることの説明として最も適切なものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

表1 鉄道による移動距離、利用人数・割合と、航空機の利用人数・割合

区間	鉄道			航空機	
	移動距離 (km)	利用人数 (人/日)	割合 (%)	利用人数 (人/日)	割合 (%)
東京 → 大阪	552.6	12,729	77.0	3,801	23.0
東京 → 岡山	732.9	1,748	74.8	588	25.2
東京 → 広島	894.2	3,466	71.5	1,381	28.5
東京 → 福岡	1174.9	925	13.7	5,825	86.3

利用人数は国土交通省「代表交通機関別旅行目的別流動表」(2010年度)。

鉄道による移動距離は交通新聞社『JR時刻表 2014 9』による。

(注) 利用人数は平日平均の値。割合はその区間における鉄道と航空機の利用人数合計に対するそれぞれの合計を表す。

- ア 鉄道の利用割合は、鉄道による移動距離が1,000km以下の場合には航空機より常に低い。
- イ 鉄道の利用人数は、鉄道による移動距離が長くなると必ず少なくなる。
- ウ 航空機の利用割合は、鉄道による移動距離が短くなると必ず低くなる。
- エ 4つの区間を利用人数順にそれぞれ並べかえた場合、鉄道も航空機も同じ順番に並ぶ。

- ③ 下線部⑥に関連して、下の表2は、鉄鉱石、石炭、原油の日本の輸入額上位3か国と、それぞれの国からの輸入額が日本の輸入額全体に占める割合を表しています。表2中のCが表す原料の名前を書きなさい。

表2 日本の輸入額上位3か国と、日本の輸入額全体に占める割合(単位: %)

順位	A		B		C	
1位	サウジアラビア	31.7	オーストラリア	64.3	オーストラリア	59.0
2位	アラブ首長国連邦	22.8	インドネシア	16.0	ブラジル	28.6
3位	カタール	12.5	カナダ	6.6	南アフリカ共和国	6.4

統計年次は2013年。『日本国勢図会 2014/15』による。

- ④ 下線部㊦に関連して、下の資料は、1960年と2010年における日本の輸出、輸入の総額と、総額に占める地域別の割合を表しています。この資料から読み取れる説明として適切でないものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

資料 日本の輸出総額・輸入総額と地域別割合

総額 (億円)		
	輸出	輸入
1960	14,596	16,168
2010	674,000	607,650

アジア州		
	輸出	輸入
1960	35.9%	30.5%
2010	59.7%	62.4%

ヨーロッパ州		
	輸出	輸入
1960	13.3%	10.8%
2010	13.7%	13.4%

北アメリカ州		
	輸出	輸入
1960	30.1%	39.2%
2010	16.6%	11.3%

その他の州		
	輸出	輸入
1960	20.7%	19.5%
2010	10.0%	12.9%

統計年次は1960年・2010年。『日本国勢図会 2011/12』による。

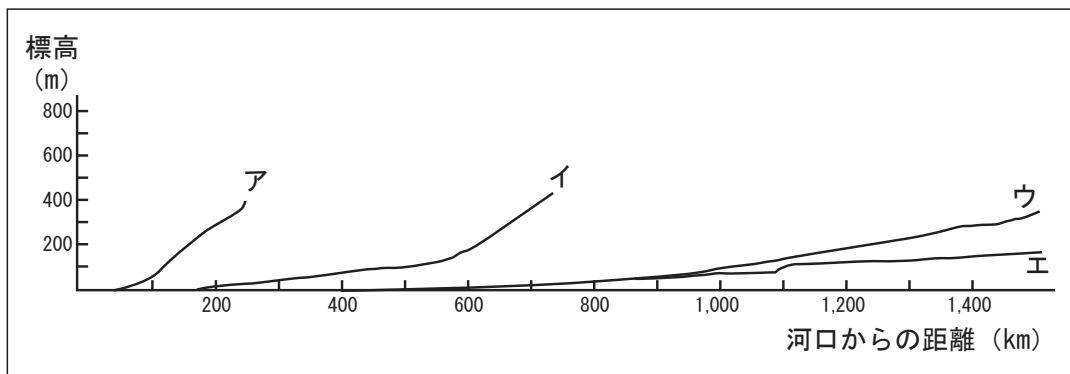
(注) 輸出は日本からの輸出、輸入は日本への輸入を表す。

- ア 2010年では、アジア州が、輸出の割合と輸入の割合のどちらも、北アメリカ州を上回っている。
- イ 北アメリカ州において、1960年では輸入の割合が輸出の割合を上回っていたが、2010年には輸出の割合が輸入の割合を上回っている。
- ウ 日本の輸出、輸入の総額において、1960年、2010年とも輸出が輸入を上回っている。
- エ ヨーロッパ州において、1960年と2010年を比べて、輸出の割合に大きな変化は見られない。

- (3) 由美さんは、日本と世界の河川のちがいを調べ、下のようにまとめました。下のグラフはメコン川、ナイル川、セーナ川、^{しなの}信濃川の河口からの^{きょり}距離と標高を表しています。信濃川にあてはまるものを、**グラフ**中の**ア～エ**のうちから1つ選びなさい。

日本の河川は、外国の河川に比べて流域面積がせまく、急流が多いという特色がある。また、河川の上流にはダムなどがつくられ、水量の調整や水資源の確保に役立てられている。

グラフ 日本^{ひかく}の河川と世界の河川の比較

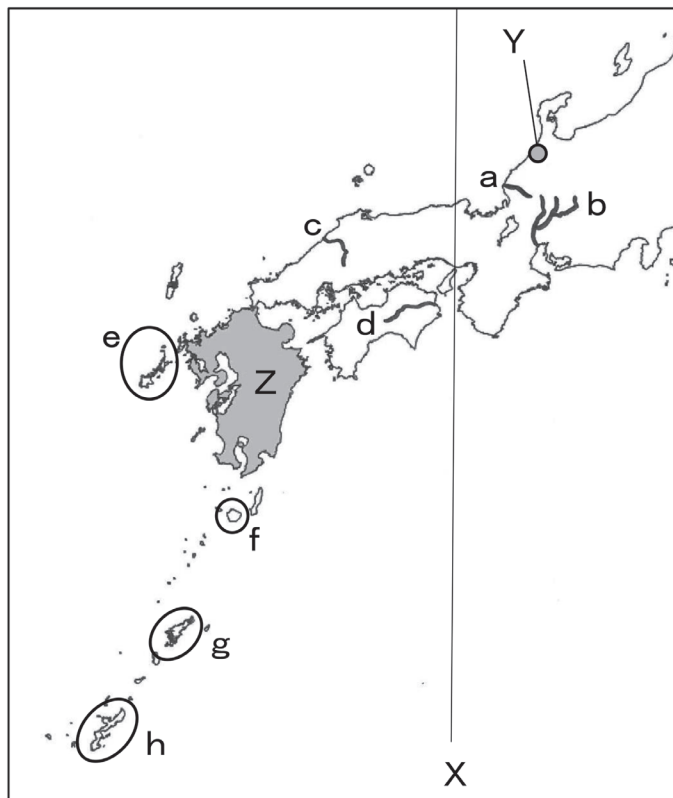


岩波書店『日本の自然〈3〉日本の川』による（一部加工）。

問題は、次のページに続きます。

2 真一さんは、九州地方から中部地方にかけての諸地域について、自然環境や産業などの特色を調べ、下のようにまとめました。次の(1)から(8)までの各問いに答えなさい。

- 日本の標準時子午線は地図1中のXで、兵庫県の明石市を通る。経度は東経 \square ㉔ \square 度である。
- ㉑北陸地方は日本有数の豪雪地帯である。
- \square ㉕ \square 川は日本アルプスに源流をもち、伊勢湾に流れこむ。
- Z地方の \square ㉖ \square 。
- 県庁所在地の置かれた \square ㉗ \square の気候は暖かく、さんご礁など豊かな自然を生かした観光業がさかんである。
- ㉘大阪府はぶどうの栽培がさかんで、近畿地方で一番多く生産している。



地図1 九州地方～中部地方

(1) ㉔ にあてはまる経度を数字で書きなさい。

(2) 下線部㉔の代表的な都市である地図1中のYの気温と降水量を表した図を、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

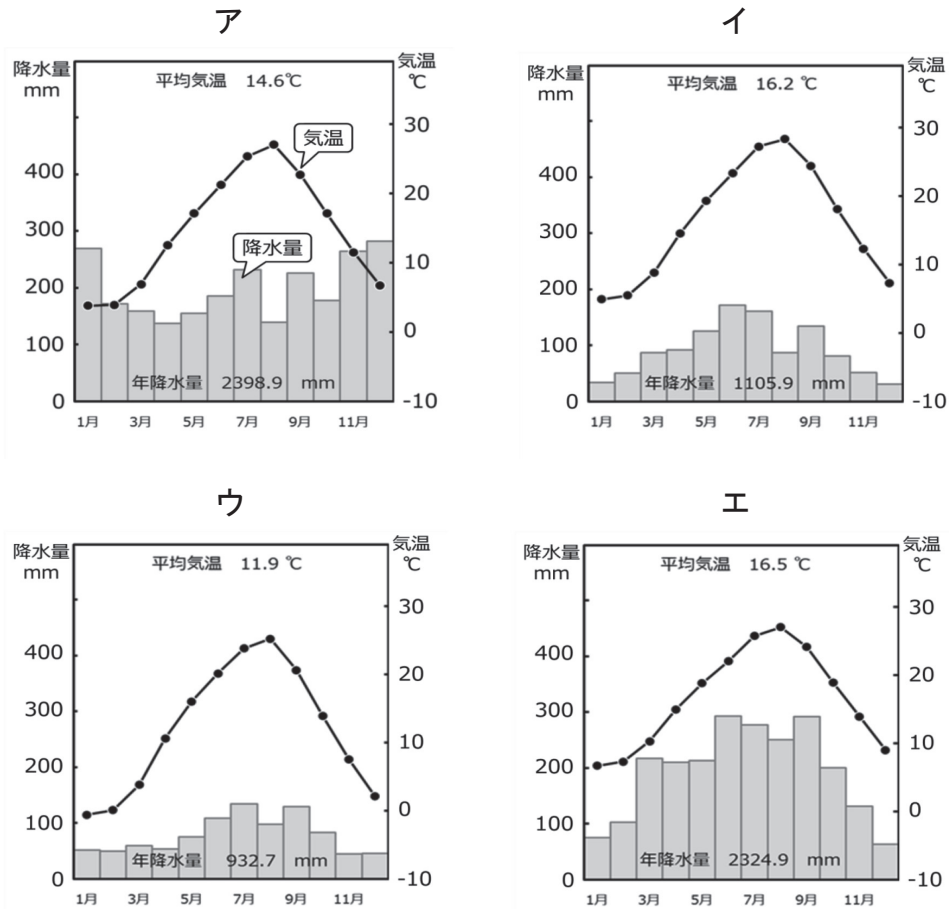


図 各都市の雨温図 気温・降水量は1981～2010年の平均値。国立天文台『理科年表』による。

(3) ㉕ の川の位置を、地図1中のa～dのうちから1つ選びなさい。

(4) ㉖ には地図1中の■で示されたZ地方について説明した文が入ります。最も適切なものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 日本海沿岸には鳥取砂丘とっとり さきゅうがある
- イ 南部には険しい山地をもつ紀伊半島けい いがある
- ウ 阿蘇山あそさんには世界最大級の巨大なカルデラがある
- エ 中央部には標高3,000m級の飛騨山脈ひだなどがある

(5) ㉗ にあてはまる島の位置を、地図1中のe～hのうちから1つ選びなさい。

(6) 下線部④に関連して、下の表1は日本におけるぶどう生産量上位7位の都道府県とその生産量を表しています。また、地図2は全国のぶどう生産量に占める各都道府県の割合を九州地方から中部地方について示しています。地図2を参考に長野県と岡山県を表すものを、表1中のア～ウのうちから1つずつ選びなさい。

表1 日本におけるぶどうの生産量上位7位

都道府県	ア	イ	山形県	ウ	福岡県	北海道	大阪府	全国(注)
生産量(トン)	48,700	30,300	20,200	16,200	9,120	7,860	5,340	198,300

(注) その他をふくむ。



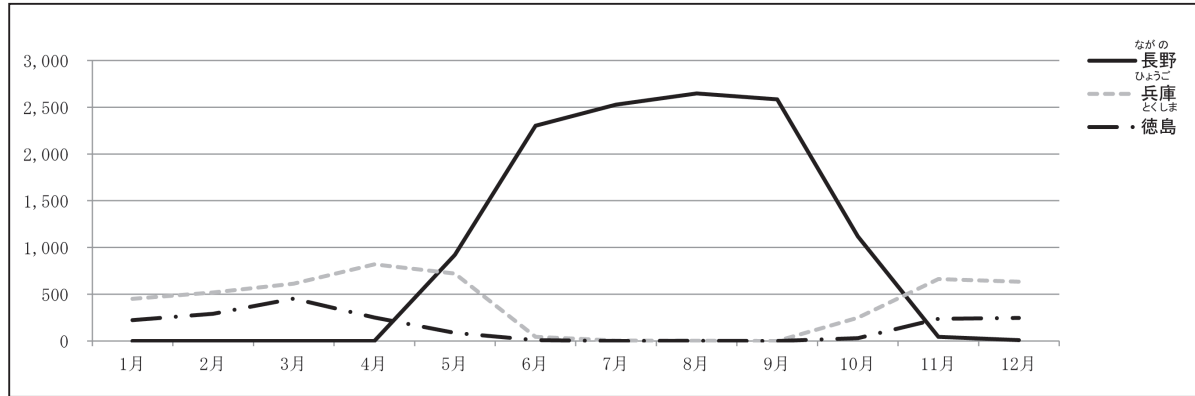
地図2 九州地方から中部地方の都道府県ごとの全国のぶどう生産量に占める割合(%)

表1・地図2ともに統計年次は2012年。『日本国勢図会2014/15』による。

(7) 真一さんは、次に大阪市中央卸売市場でのレタスの月別入荷量を調べ、資料1のとおりグラフにしました。

資料1 「レタスの月別入荷量」

(単位：トン)



統計年次は2013年(大阪市中央卸売市場本場)。独立行政法人農畜産業振興機構野菜情報総合把握システム「ベジ探」による。

さらに、真一さんは、資料2・資料3を集めて、長野県がレタスの大阪への出荷量を夏にかけて増やしている理由を考え、下のようにまとめました。

資料2 「レタスの産地(徳島、菅平、洲本)の月別平均気温」

(単位：℃)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
徳島(徳島県)	6.1	6.5	9.6	14.8	19.2	22.7	26.6	27.8	24.5	18.9	13.5	8.5
菅平(長野県)	-6.2	-5.8	-2.1	4.9	10.4	14.6	18.5	19.5	15.1	8.5	2.8	-2.9
洲本(兵庫県)	5.1	5.3	8.2	13.5	17.8	21.5	25.3	26.5	23.3	17.9	12.9	7.9

気象庁資料による。

資料3 「レタス栽培マニュアル」

冷涼な気候が適します。生育には15～20℃が適しています。25℃以上になると休眠状態になって発芽しにくくなります。

(注) JAとうと「親子でつくろう!ベランダ野菜」による。

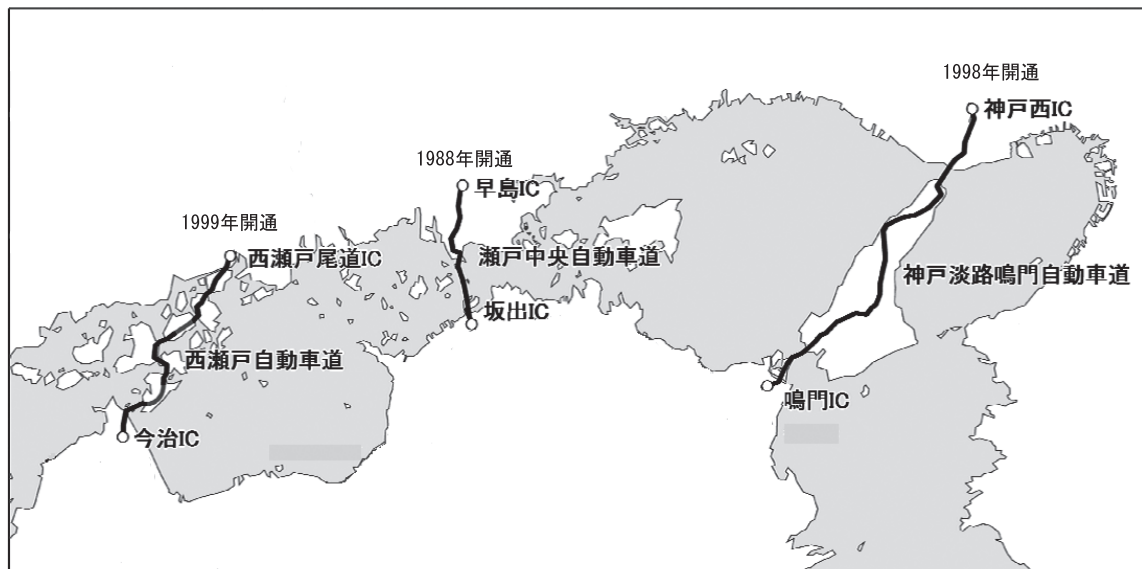
真一さんがまとめた文章

長野県の産地では、レタスが育つのに最適な時期は 月～ 月である。長野県では することで、長野県産のレタスの商品価値を高めている。

① 上の資料をみて、下の問いに答えなさい。

- 月～ 月にあてはまる数字を1つずつ書きなさい。
- にあてはまる内容を、「他の地域」という言葉を用いて書きなさい。

- ② 四国地方は、本州との間に本州四国連絡橋の3つのルートが開通し、物流が大きくなりました。下の地図3は3つのルートのそれぞれの位置と開通年を示しています。また、表2は、四国地方と6つの地域^(注1)との間の、自動車による年間貨物流動量^(注2)を、1984年度・1989年度・2007年度の3つの年度について表したものです。地図3と表2から読み取れることとして適切なものを、次ページのア～エのうちから2つ選びなさい。



地図3 本州四国連絡橋のルートと開通年

表2 四国地方と各地域の年間貨物流動量(自動車) (単位 百万ト)

年間貨物流動量(自動車)	1984年度	1989年度	2007年度
四国⇔九州・沖縄	1.6	3.3	3.8
四国⇔中国	4.3	4.5	8.3
四国⇔近畿	9.6	13.0	21.2
四国⇔中部	3.2	4.0	7.1
四国⇔関東・甲信越	3.5	4.5	7.0
四国⇔北陸・東北・北海道	0.7	0.9	1.3
合計	22.9	30.2	48.7

地図3・表2とも国土交通省「貨物・旅客地域流動調査」、本州四国連絡高速道路株式会社「本四架橋と私達のくらし」による。

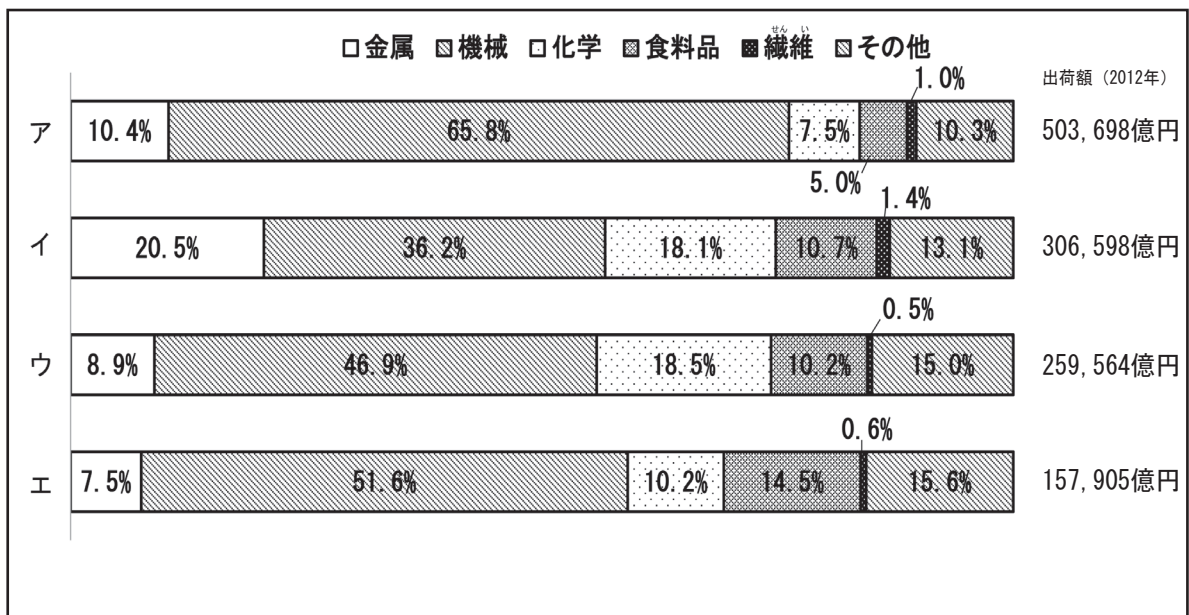
(注1) [北陸・東北・北海道][関東・甲信越][中部][近畿][中国][九州・沖縄]の6地域。

(注2) 年間貨物流動量は一年間にある地点から別の地点へ貨物が移動した量。双方向の合計値で示している。

- ア 四国と中国地域との間の流動量は、瀬戸中央自動車道の開通後よりも他の2つの橋の開通後の方が増加した。
- イ 四国と近畿地域との間の流動量は、瀬戸中央自動車道開通前と3つのルートすべての開通後を比較すると、2,000万トン以上増加した。
- ウ 四国と北陸・東北・北海道地域との間の流動量は、瀬戸中央自動車道開通前も3つのルートすべての開通後も、6地域の中で最も少ない。
- エ 四国と九州・沖縄地域との間の流動量は、3つのルートすべての開通後、四国と関東・甲信越地域との間の流動量を上回った。

(8) 真一さんは、阪神工業地帯と、京浜工業地帯、中京工業地帯、東海工業地域の製造品出荷額の内訳と出荷額とを調べ、下のグラフにまとめました。阪神工業地帯にあてはまるものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

グラフ 工業地帯・工業地域ごとの製造品の内訳と出荷額

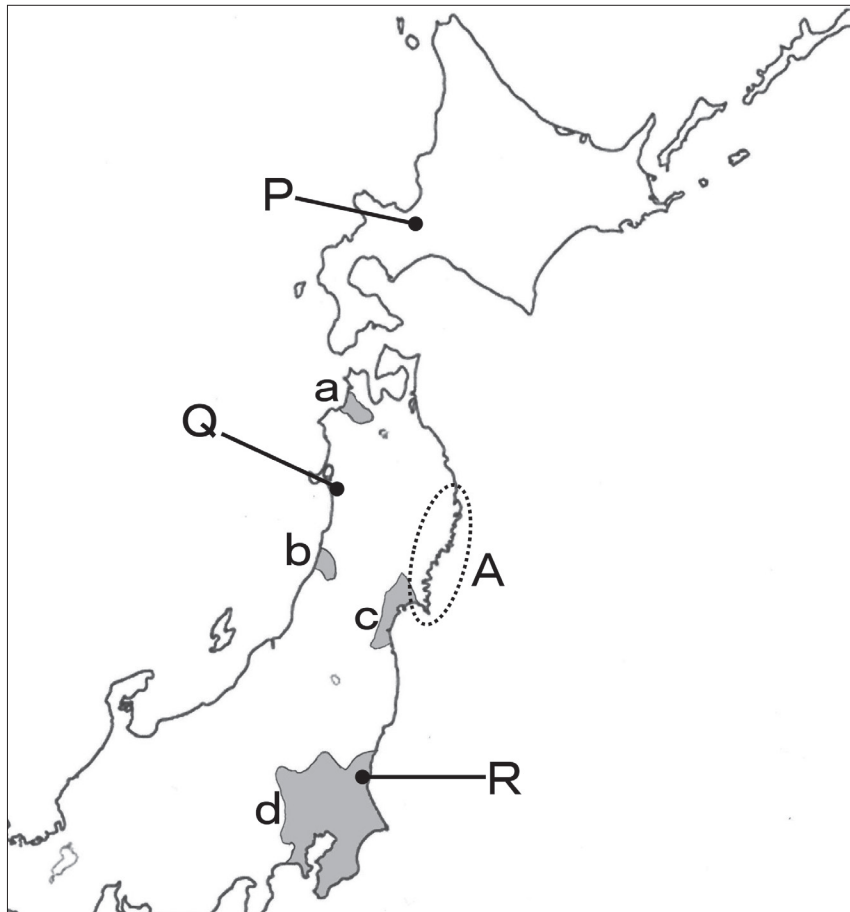


統計年次は2012年。『日本国勢図会2014/15』による。

3 優花さんのクラスでは、関東地方から北海道地方にかけての諸地域について、班ごとにその特色を調べました。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 健治さんの班では、気候とおもな平野、海岸地形、都市について調べ、下のよう
にまとめました。

- ㊦この地域は南北に長く、緯度によりさまざまな気候が見られる。
陸地をへだてる山脈や近くを流れる海流も気候に影響を与えている。
- 地図1中にAで示した三陸海岸には出入りの多い入江をもつ㊧海岸
という地形が見られる。
- ㊨平野には、利根川を始め、多くの川が流れている。平野の各地
には、川にそった低地と火山灰のつもった赤土におおわれた台地とが
見られる。



地図1 関東地方～北海道地方

- ① 下線部㉔に関連して、下の表1は地図1中のP～Rの各都市の気温の月別平年値を示しています。都市Qを表すものを、下の表1中のア～ウのうちから1つ選びなさい。

表1 各都市の気温の月別平年値（℃）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア	-3.6	-3.1	0.6	7.1	12.4	16.7	20.5	22.3	18.1	11.8	4.9	-0.9
イ	3.0	3.6	6.7	12.0	16.4	19.7	23.5	25.2	21.7	16.0	10.4	5.4
ウ	0.1	0.5	3.6	9.6	14.6	19.2	22.9	24.9	20.4	14.0	7.9	2.9

気温の月別平年値は1981年～2010年の平均値。国立天文台『理科年表』による。

- ② ㉕にあてはまる言葉を書きなさい。
- ③ ㉖の平野の位置を、地図1中のa～dのうちから1つ選びなさい。

- (2) 明日香さんの班では、「他地域との結びつき」という観点から関東地方について調べ、下のようにまとめました。

- ・日本の社会の構造は、「^{とうきょういっさいく}㉗東京一極集中」といわれる。
- ・㉘関東地方には貿易額上位の港が複数集まっている。

- ① 下線部㉘に関連して、東京都についての説明として適切でないものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 多くの新幹線や高速道路の起点がある。
- イ ^{じょうじょう きぎょう}上場企業の本社が全国で最も多く置かれている。
- ウ 企業の工場が集まり、製造業出荷額が全国1位である。
- エ ^{こっかいぎ じどう}国会議事堂や省庁など、おもな政府機関が置かれている。

- ② 下線部㊸に関連して、下の表2は日本の貿易額上位10港とそれぞれの貿易額を表しています。表2から読み取れることの説明として適切でないものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。


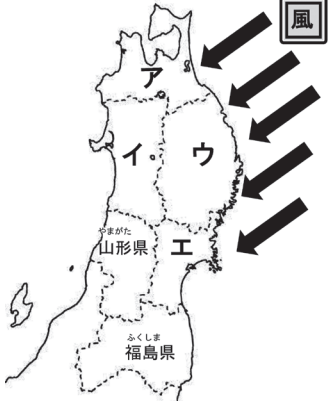
表2 日本の貿易額上位10港

	貿易額（億円）	割合（％）
<small>なりた</small> 成田国際空港	188,442	12.5
<small>なごや</small> 名古屋	163,103	10.8
<small>とうきょう</small> 東京	155,129	10.3
<small>よこはま</small> 横浜	109,217	7.2
<small>こうべ</small> 神戸	81,640	5.4
<small>おおさか</small> 大阪	78,656	5.2
<small>かんさい</small> 関西国際空港	77,374	5.1
<small>ちば</small> 千葉	58,859	3.9
<small>かわさき</small> 川崎	48,069	3.2
<small>よっかいち</small> 四日市	32,077	2.1
全国 (上記以外を含む)	1,510,167	100.0

■は関東地方の港、貿易額は2013年の輸出入の合計を表す。統計年次は2013年。『日本国勢図会 2014/15』による。

- ア 上位10港のうち、半数が関東地方の港である。
- イ 上位10港のうち、関東地方以外の港はすべて近畿地方にある。
- ウ 上位10港の貿易額の総額は、日本全体の貿易額の半分以上を占めている。
- エ 上位10港を都道府県別に見ると、千葉県にある港の貿易額の合計が最も多い。


(3) 優花さんの班では、東北地方の「伝統産業」や「農業」について調べ、下のよう
にまとめました。

<p>・ 伝統産業 南部鉄器は江戸時代に今の <input type="text" value="A"/> 県 で作られ始めた。原料となるよい鉄や、 水運などに恵まれたことから発展を続 け、今でも広く使われている。</p>	<p>写真「南部鉄器」</p> 
<p>・ 農業 東北地方の太平洋側で夏場に吹く冷 たく湿った北東の風は、<input type="text" value="B"/> とよば れる。 <input type="text" value="B"/> が長く続くと冷害の原因とな り稲作などに大きな影響をもたらす。</p>	 <p>地図2 冷害をもたらす風</p>

- ① にあてはまる県を、地図2中のア～エのうちから1つ選びなさい。
- ② に共通してあてはまる風の名前を書きなさい。

(4) 大樹さんの班では、北海道の「農業」について調べ、下の地図3のようにまとめました。地図3は、稲作、畑作、酪農がさかんな地域を示しています。また、カード中のa～cは、地図3中のX～Zのそれぞれの〈説明〉に付け加えるために書いた文章です。X～Zとa～cとの組み合わせとして最も適切なものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア X-a Y-b Z-c
- イ X-a Y-c Z-b
- ウ X-b Y-a Z-c
- エ X-c Y-b Z-a



〈説明〉

X	…	稲作がさかん
Y	…	畑作がさかん
Z	…	酪農がさかん

地図3 稲作、畑作、酪農がさかんな地域

カード

a 北海道で一番長い川の下流に広がる平野で、昔は土地のほとんどが水はけのよくない泥炭地でいたんちだった。

b 火山灰地きりが広がる台地で、夏には霧が発生して日照時間が短く冷涼れいりょうで、また降水量も少ない。

c 北海道で三番めに長い川が流れる平野で、西に大きな山脈があり雪が降りにくい。土地は火山灰を含むので水はけがよい。

問題は、次のページに続きます。

- 4 友美さんは、近世の歴史について興味をもち、略年表にまとめました。次の(1)から(8)までの各問いに答えなさい。

略年表

世紀	できごと
15	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> ・コロンブスが西インド諸島<small>とうたつ</small>に到達する
16	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教が伝わる <div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;">C</div> <ul style="list-style-type: none"> ・あ幕府<small>ぼくふ</small>がほろびる ・豊臣秀吉<small>とよとみひでよし</small>が全国統一を達成する <div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;">D</div>
17	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府<small>えど</small>が開かれる ・①武家諸法度<small>ぶけしよほつと</small>が定められる ・②鎖国<small>さこく</small>の体制がしかれる
18	<ul style="list-style-type: none"> ・③松平定信<small>まつだいらさだのぶ</small>が幕府の政治改革を行う
19	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸を中心に、化政文化<small>かせい</small>が栄える

- (1) 下のできごとは略年表中のどこに入りますか。最も適切な位置を、略年表中の A ~ D のうちから1つ選びなさい。

- ・ドイツのルターらにより宗教改革が始まった。

(2) ㉒ にあてはまる言葉を書きなさい。

(3) 下線部㉑に関連して、友美さんは、「参勤交代」について調べ、下のよう
にまとめました。

- ・大名は将軍に従い、1万石以上の領地を与えられた武士である。
- ・大名には江戸と領地を1年おきに往復する義務があり、江戸に屋敷を建て、妻子をそこに残した。
- ・江戸との往復や江戸屋敷での生活の費用は、大名の重い負担となった。

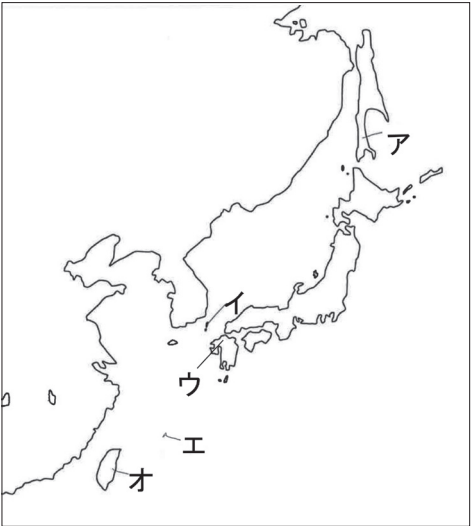
① 参勤交代の制度を定めた将軍の名前を、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

ア 徳川家康 とくがわいえやす イ 徳川家光 いえみつ ウ 徳川綱吉 つなよし エ 徳川吉宗 よしむね

② 武家諸法度や参勤交代の制度を定めた幕府のねらいを説明しなさい。

(4) 下線部㉒に関連して、友美さんは、鎖国下の日本の窓口について調べ、下のよう
にまとめました。 X ・ Y にあてはまる場所を、地図1中のア～オのうちから1つずつ選びなさい。

- ・江戸幕府は、長崎の出島でオランダ人や中国人と貿易を行い、彼らに風説書を出させた。
- ・松前藩は、 X を含む広い地域で交易を営むアイヌ民族との取引を独占した。
- ・対馬藩は、釜山に倭館を置き、朝鮮と貿易を行った。
- ・薩摩藩は、武力で Y を征服した。しかし、中国への朝貢は続けさせ貿易の利益を得た。



地図1 鎖国下の日本の窓口

(5) 下線部㉔に関連して、18世紀には松平定信まつだいらさだのぶの改革のほかにも幕府ぼくふの政治を大きく改革しようとした動きがありました。友美さんは、松平定信の改革をふくめ、この時代の3つの大きな政治改革の内容を調べ、下のカードA～Cにまとめました。

カード

A 農民の出稼でかせぎを制限し、旗本はたもとや御家人ごけにんの借金ちゆうけを帳消しにしたほか、けんやく 儉約令を出した。また、幕府の学校をつくり武士しゅしがくに朱子学を学ばせた。

B 武士に質素・儉約を命じ、武芸をすすめた。また、目安箱めやすばこをもうけて庶民しょみんの意見を参考にしたほか、公事方御定書くじかたおさだめがきを定め裁判の基準とした。

C をつくることを商工業者に奨励しょうれいし特権あたを与え、かわりに税をとった。しかし利権などを求め、わいろが用いられ政治の混乱をまねいた。

① にあてはまる言葉を書きなさい。

② A～Cを年代の古い順に正しく並べたものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

ア A→C→B

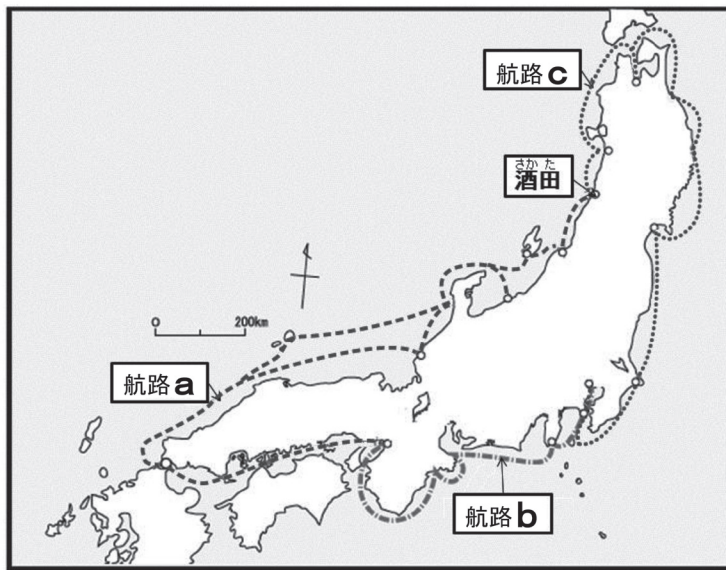
イ B→A→C

ウ B→C→A

エ C→B→A

(6) 友美さんは、江戸時代のおもな航路を調べ、下のようにまとめました。下線部 X ~ Z と地図 2 中の航路 a ~ c との組み合わせとして最も適切なものを、下のア ~ エのうちから 1 つ選びなさい。

- ・東北地方の年貢米や産物は、X 西まわり航路や、Y 東まわり航路で、江戸や大阪に運ばれた。
- ・Z 江戸、大阪間の航路を菱垣廻船・樽廻船が定期的に運行し、日用品などを運んだ。



地図 2 江戸時代のおもな航路

- ア X - a Y - c Z - b
- イ X - a Y - b Z - c
- ウ X - b Y - a Z - c
- エ X - c Y - b Z - a

(7) 江戸時代には農業が発達しました。下の図に示した江戸時代に発明された新しい農具の名前を書きなさい。

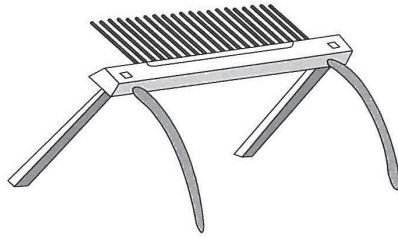


図 新しい農具

(8) 化政文化のころに活躍した人物について述べた文として最も適切なものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 葛飾北斎が、すぐれた風景画をえがき、人気を得た。
- イ 松尾芭蕉が、俳諧（俳句）を芸術の域にまで高めた。
- ウ 菱川師宣が、町人の風俗をえがき、浮世絵の祖となった。
- エ 近松門左衛門が、人形浄瑠璃の脚本を書いて、人気を得た。

これで、社会の問題は終わりです。

